

会 議 等 報 告 書

会議等名 袖ヶ浦市市制施行30周年記念事業市民実行委員会
第4回プロジェクトチームミーティング

日 時 令和3年9月26日(日) 10時00分から12時05分

場 所 袖ヶ浦市役所 旧館3階大会議室

出席者 市民実行委員会プロジェクトチーム 10名
市職員シティプロモーション戦略プロジェクトチーム 9名
泉水秘書広報課長

【会議内容】

1 開会

2 議題

(1) 延期後のメインイベントの内容について

(2) 延期後のメインイベントの検討・準備スケジュールについて

事務局より2月以降に延期したメインイベントについて、新型コロナ対応や同日開催予定の商工会主催のガウラフェスタとの役割分担を考慮し、内容を見直した企画書案を説明し、意見交換を行った。

【意見・質疑】

○ライブ配信について

- ・オンラインのライブ配信はどのような形で行う予定か。
→地元のケーブルテレビ局と相談をしている。現在の予定では、オープニングから花火まで全体を通じてケーブルテレビ若しくはYouTube等で配信を行う予定で検討している。
- オンラインで配信を行った実績もあるが、時間が長くなればなるほど離脱率が高くなる。ただ単に90分生配信を行うよりも、事前撮影やガウラを司会に使うようなある程度編集されたもののほうが楽しめる内容になると思う。
- ライブ配信の目的を市外向けのシティプロモーションか、当日会場に来られない市民向けにするかで内容も変わる。コロナの影響を考えると今回は市民向けがメインとなる。
- 当日のライブ配信はお金をかけずに自前でYouTube等を活用して市民向けに行い、後日編集したものを市外向けのシティプロモーションとして配信、放送するほうが良いのでは。

○ガウラのWedding Party! について

- ・ガウラのWedding Party! については、やはり全体の一連の流れを大切にしたい。当初のイ

メージとしては、ガウラや市民カップルの結婚おめでとう！のタイミングで花火があがるのをイメージしていた。コロナの状況が予測できないのでどちらかという配信メインのイメージだった。市長に牧師役をやってもらうのも面白い。

→メインイベントの入場可能人数は依然として未定だが（9月時点の国のガイドラインでは上限5千人）、新型コロナウイルス対策を徹底したうえで、できる限り多くの市民に来場いただき、花火等を楽しみ30周年を祝う場としたい。

→ドイツ村で通常時開催している結婚撮影プランは、運営会社が基本的に衣装やカメラマン等を準備しており、ドイツ村は会場として利用いただいている形。ただ、普段はイルミネーションの時期は設定していないため、今回はプレミアム感があるかもしれない。

→衣装、ブーケ、装飾等は結婚式場等と提携して準備を進めなければならない。また、参加者の意向もあると思うので、衣装代等は自己負担が必要かと考えている。2月の時期であるので、寒さ対策と着替え場所の確保等が課題になる。

・コロナでかなえられなかったお祝いを実現できるのは良いと思う。ただし、花火が集客のメインであることを考えると、Wedding Party時に閑散としていることはないか。

→花火が集客のピークにはなると思うが、イルミ開催時期の土日で通常のお客さんもいるので、ある程度の集客は見込めると思う。

→Wedding Partyもライブも花火もコロナの中で皆さんが我慢してきたことなので、感染予防をしたうえで開催できるのは喜ばれると思う。1組のカップルのために花火をあげるような演出もロマンチックで良いのでは。

・募集対象としては市民に限定すべきだと思う。市内で現在の婚姻数はどの程度か。

→（後日確認し）年間で約500～600件程度。

・募集対象者は、コロナ禍で結婚式が挙げられなかった方に限らず、もう少し幅広い世代の方を含めても良いのでは。

→ストーリー性は必要だと思うが、募集の要件は細かく定めなくても良いと思う。過去に婚姻された方で改めてお祝いをしたいという方も対象に含めたい。

・ウェディングプランナーに依頼等を行い、照明や音楽も含めて全体で演出をしていく必要があると思う。

→衣装等の準備も含めて結婚式場等に委託をお願いする形になる。その中で調整していきたい。司会についても、当初通しでお願いをする予定でいたが、必要によりWedding Party部分は切り分けて考えたい。

○ステージの設営について

・既存の青空ステージの状況があまり良くないので、仮設ステージを組む必要がある。トラスを建てて、上方、前方から照明を当てないと出演者の顔もわからない状況になってしまう。

→予算的な制約はあるが、簡易的なトラスを建てることを検討したい。今後委託事業者と現地確認・打ち合わせを進めたい。

○子どもたちの参加、未来のまちづくりに向けた取組

- ・延期後にイベント内容を見直したことによって、SDG s や未来のまちづくりに向けた視点が少し弱まってしまったように感じている。皆さんからのアイデアや意見があれば。
- 木更津法人会がSDG s の活動に取り組もうとしており、そこと連携すれば、例えば昼間行うガウラフェスタの中で開催することも可能だと思う。商工会青年部の職業体験もそうだが、ガウラフェスタという会場の中で、30周年記念事業として未来のまちづくりに向けた取組を行っていくことが良いのでは。
- 市長が子どもの時の市制施行時の思い出を今でも覚えているという話があり、子どもたちに何らかの形で参加してもらうのが一番袖ヶ浦らしいと思う。
- 未来のまちデザインプロジェクトで小学生が描いたポストカードからモザイクアート等の大きな作品に仕上げられることを検討している。ただし、ドイツ村にそれを展示するのは難しく、どちらかという、2月11日に市民会館で開催予定の記念式典の方が展示には向く。
- 例えば、スカイランタンに子どもたちの夢などを描いて、あげることはできるのでは。
- スカイランタンは基本的には、自分であげて、それを回収する形になる。絵や文字を描くことも可能だが、それなりに準備等に時間を要する。
- ハートなどいろいろな形の花火が最近打ち上げられるようになったが、子どもたちが花火をデザインするのも面白いのでは。SDG s で言えば、30周年を節目にこれから始めるという活動が大切だと思う。
- 例えば、各中学校の生徒会の生徒に、オープニングに登場してもらい、未来のまちづくりを語ってもらうのはどうか。

○運営面について

- ・市民が主役であることを考えると、参加者の事前登録は、参加したいのにできない方が生まれる恐れがあるのでは。
- 新型コロナ対応により、現時点ではできる限り参加者の事前把握が望ましいと考えている。事前登録は当日でもOKとする予定。ただし、この点については今後国のガイドライン等も変更されてくると思うので、引き続き検討したい。

【結論】

- ・基本線としてプロジェクトチームの案としては、オープニング、ガウラのWedding Party、アーティストライブ、花火をメインとしたショー形式のイベントとして検討を進める。ライブ配信については、当日はY o u T u b e 等を活用した簡易的な配信で検討する。

(3) その他オンライン等を活用した市制施行30周年記念事業について

事務局より、新型コロナウイルス感染症の収束に向けた今後の状況が不透明な中で、メイン

イベント以外に、オンライン等を活用したその他記念事業についても併せて検討したい旨提説明。 案1「みんなで踊ろう 新!袖ヶ浦音頭(仮)」、案2「そでがうら地域ブランディングCMコンテスト(仮)」、案3「メンバーからの自由提案」から、1つに絞って検討する。

【意見・質疑】

- ・案1については、将来的に袖ヶ浦駅前を利用して木更津のやっさいもっさいのように市民が楽しめる踊りとして定着させたい思いがあるが、今年度どこまで進められるか難しい部分もあると思う。
 - ・案2については、近隣では木更津商工会議所青年部が「木更津CMコンテスト」として8回ほど開催している。
 - ・案2は、全国の方が袖ヶ浦市を知るきっかけになれば良いと思う。絵コンテのみの応募では決まった場合どうするか。
- 絵コンテのみとした場合は、実行委員会側で作品として仕上げる必要があると思う。
- ・案2について、やり方としてY o u T u b eで配信するようなある程度完成したCM作品を募集する方法と、インスタ動画等で簡単に市の魅力を紹介するものを集める方法とあると思う。後者のほうが多くの参加が見込める気はする。
 - ・案3の提案として、オンラインを活用した謎解きゲームはどうか。袖ヶ浦を探索しながら、宝を探すようなイメージ。子どもも楽しめるのでは。

【結論】

- ・プロジェクトチームによる投票により、案2「そでがうら地域ブランディングCMコンテスト(仮)」を実行委員会として検討を進めることとする。

3 その他

4 閉会